

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

 リサイクル燃料製造装置	<b>【施設名称】</b> リサイクルネットワーク in 小松
	<b>【事業主体】</b> 小松市
	<b>【所在地】</b> 石川県小松市
	<b>【運転開始年】</b> 平成 14 年（2002 年）
原材料および利用量	廃食用油 800 L / 月（市内一般家庭 500L/月、私立の保育所 200L/月、小・中学校各 1 校 100L/月）
生産物（種類）	BDF
利用方法	市内ゴミ収集車（パッカー車 4 台）
導入目的・経緯	廃食用油でリサイクル燃料を精製することにより、環境負荷の軽減と循環型社会を目指す
設備仕様	廃食用油リサイクル燃料製造装置
稼働状況	
経済性関連データ	
導入効果	14 年度は 600L / 月であった廃食用油収集量が、16 年度には 800L / 月となり、着実な資源の有効利用が図られた
運営上の課題	廃食用油回収量は増加しているものの、目標の 1 / 2 の量にとどまっていることから、市民に対する一層の周知徹底が必要
備考・参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省 HP（<b>農林水産業の先進的取組事例</b>）</li> <li>・北陸農政局 HP（特定テーマ「バイオマスのエネルギー利用等の先進事例」）</li> <li>・バイオマス情報ヘッドクォーター</li> </ul>